

留学を終えて

岐阜聖徳学園高等学校 西松 出造（アメリカ）

私はロータリークラブの青少年交換プログラムを通しての約 11 ヶ月間のアメリカ留学でとても貴重な経験をたくさんさせていただきました。また、11 ヶ月という長い期間を現地の学校に通いながら実際のアメリカの家庭で生活し、人と交流することで、アメリカの実際の生活や、イメージと違ったことを知ることができました。私が留学してみたいと思ったきっかけは、幼い頃から言語や、海外の生活に興味があり、日本人だけでなく、外国人と交流できる環境を作りたいという願望がありました。しかし、私の住んでる場所に外国人があまりいないということもあり、現実的ではないと考えていました。そのため、現地にいき、実際に生活したいと強く感じるようになりました。 アメリカと日本の違いは、僕のアメリカ人のイメージはすごくフレンドリーで、初対面でもだれとでも仲良くなれるぐらいだと思っていました。でも、実際は初対面で向こうから話しかけてくることは少なく、少しシャイでした。ですか、アメリカではほとんど敬語がなく、目上の人とでも友達感覚で話することができます。そのため、僕はアメリカ人の印象として、フレンドリーな人と思ってました。生活においては、日本でホームレスを見ることはほとんどありませんでした。ですか、アメリカでは大都市はもちろん小さい街でもホームレスがいて経済格差が大きいと感じました。日本では無宗教の人が多いですが、アメリカでは毎週日曜日は教会にいたり、言ってはいけない言葉があったり、有宗教者がたくさんいて日本ではあまりできない経験ができ貴重な経験になりました。以前はあまり自分の考えを言わない性格でしたが、広い考えを持てるようになりました。 ありがとうございます。